



兵庫県埋蔵文化財情報

# ひょうどの遺跡

平成21年(2009)  
8月10日発行

72号

兵庫県立考古博物館

〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中500 TEL079-437-5589 FAX079-437-5599  
ホームページアドレス <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kokohaku-bo/>



邪馬台国時代の播磨の拠点集落

## 飯田（長越）遺跡の焼失住居跡



焼失状況

竪穴住居跡1 調査風景

飯田（長越）遺跡は、姫路市飯田に所在する弥生時代末を中心とする播磨地域を代表する集落です。

船場川河川改修に伴って発掘調査を実施し、竪穴住居跡などを確認しました。焼失住居跡が多く検出されたことが特徴です。



## 飯田（長越）遺跡

姫路市飯田

長越遺跡は1974年に姫路バイパス建設に先立って発掘調査が行われ、その結果庄内式土器という薄く焼き上げられた土器を多数保有するムラであることがわかりました。各地域から運ばれた土器が多くあり、播磨の大きな集落の1つと考えられます。古墳時代の始まりを考えるうえにも重要な遺跡です。

調査区北半全景



空中写真



↑ ↓ 竪穴住居跡 1



今回の調査では焼失住居跡が目立ちました。中でも竪穴住居跡1では柱・垂木・扉？が確認されています。壁沿いには杭もあり板材が添えられていたものと思われます。建築材はアベマキ・カシ類です。今回の検出状況からは土屋根はないようです。





竖穴住居跡 1



竖穴住居跡 2



竖穴住居跡 4

竖穴住居跡は13棟調査しました。すべて方形プランです。ほとんどの住居は4本柱で周囲が一段床を高くしています。明瞭な焼失住居である竖穴住居跡1と竖穴住居跡6には間仕切りがあり（横板が残存）、通常の住居とは性格が異なるようです。工房かと思われます。強く焼けているのはそのためでしょうか。



現地説明会



竖穴住居跡 6

壁にイネ科の編んだ草壁が確認されました。鳥取県三林遺跡に類例があり、県下でも片島遺跡に類例があります。







## ① 有年牟礼・井田 (うねむれ・いだ)

赤穂市有年牟礼  
SH02  
弥生時代中期中葉  
～後葉  
赤穂市教育委員会提供

## ⑫ 西木之部 (にしきのべ)

篠山市西紀町東木ノ部  
SH 5  
弥生時代後期後葉  
～末



## ② 周世入相 (すせいりや)

赤穂市周世  
竪穴住居 4  
弥生時代後期後葉



## ③ 片 島 (かたしま)

たつの市揖保川町片島  
2号住居跡  
弥生時代中期後葉



## ④ 亀 田 (かめだ)

揖保郡太子町上太田  
SH20  
弥生時代後期初頭



## ⑤ 飯 田 (いいだ)

姫路市飯田  
SH 01  
弥生時代後期末



## ⑥ 市之郷 (いちのこう)

姫路市市之郷  
SHE01  
古墳時代中期末



◆ 弥生時代中期中葉～後期初頭

◆ 弥生時代後期中葉～後期末

◆ 古墳時代中期～終末

1 2 3 4 5 6  
赤穂 姫路 加古川

# 主な焼

※kashimir3Dを用いて作成

## ⑦ 大 中 (おおなか)

加古郡播磨町大中  
SH2202  
弥生時代後期末





**15 津万遺跡群**  
(つまいせきぐん)

西脇市津万  
SH01  
弥生時代後期後葉  
～末



**14 有鼻**  
(ありはな)

三田市けやき台  
竪穴住居11  
弥生時代中期後葉



**13 川除・藤ノ木**  
(かわよけ・ふじのき)

三田市川除  
SH52  
弥生時代後期中葉



**12 二郎宮ノ前**  
(にろみやのまえ)

神戸市北区有野町二郎  
SH 4  
古墳時代終末



**11 玉津田中**  
(たまつたなか)

神戸市西区玉津町田中  
SH50001  
弥生時代後期中葉



**10 表山**  
(おもてやま)

神戸市西区伊川谷町上脇  
竪穴住居 2  
弥生時代後期初頭



**8 大森谷**  
(おおもりだに)

洲本市上内膳大森谷  
7号住居跡  
弥生時代後期後葉  
～末



**9 塩壺西**  
(しおつぽにし)

淡路市岩屋  
SH13  
弥生時代後期後葉





山陽電鉄の通る明石川付近から林崎松江海岸駅までの本線高架化に伴い、確認調査を実施した結果、現在の西新町駅の周りで江戸時代の町屋（町人の屋敷）の跡が見つかり、現在までに2度の発掘調査を実施しました。

平成21年2月には、西新町駅前の踏切北東側の一角を調査し、東西方向の溝や土坑（ゴミ坑）、埋桶、埋甕、<sup>うめおけ</sup> 胞衣壺<sup>うめかめ</sup>などが見つかりました。東西方向の溝は、駅前の南北方向の道路へ向かってほぼ直交しています。南北方向の道路は江戸時代の絵図にも描かれている街道にあたり、東西の溝は屋敷地を区割りする溝であったと考えられます。出土した遺物は、瓦、陶磁器、漆碗のほか、銅銭（寛永通宝）や土人形など当時の生活を窺わせるものが出土しています。

平成21年6月には、西新町駅駅舎の仮設階段設置に伴って、駅舎下の北側を調査しました。調査の結果、やはり駅前の南北方向の道路に直交する石組みの水路や溝など、屋敷地を区割りする溝や土坑、埋甕などが見つっています。また、調査区西側では、南北方向の道路と平行する溝が見つっています。西新町駅の駅舎付近は、江戸時代の絵図をもとにした復元から町屋の境にあたることが知られており、この溝が町屋の境となる溝ではないかと考えられます。



平成21年2月の調査 西から



胞衣壺



平成21年6月の調査 西から



石組みの水路 西新町駅舎から



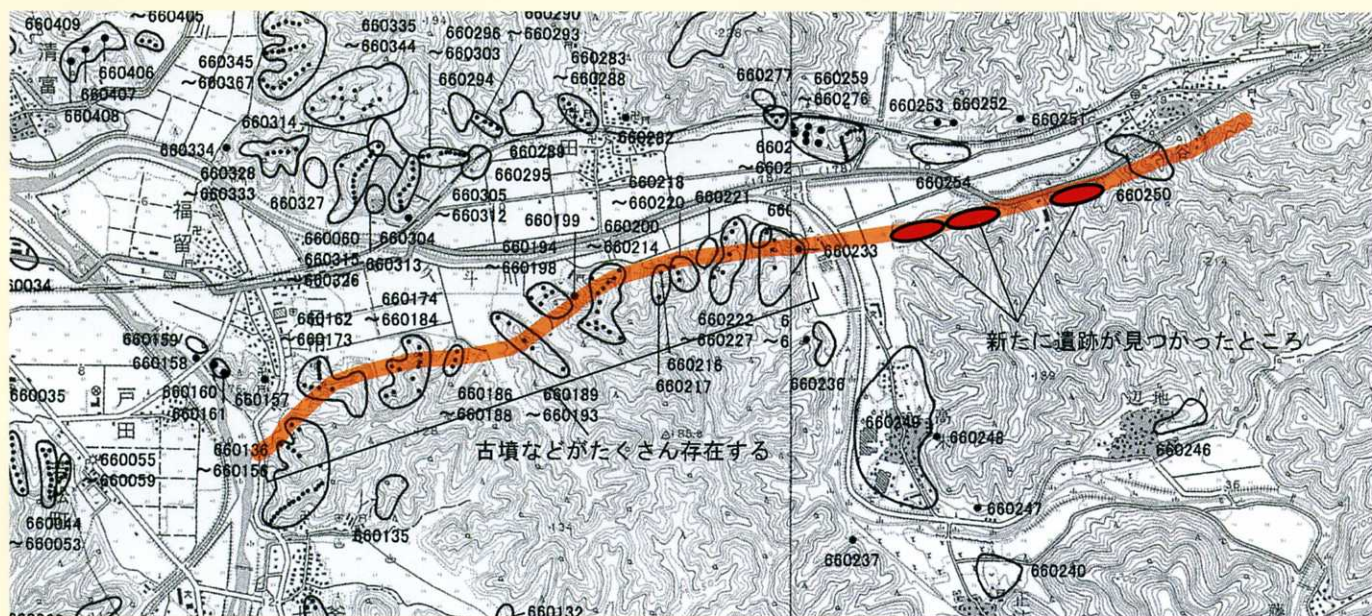
## 野を涉り、山を越え -分布調査-

『ひょうごの遺跡』では主に発掘調査で明らかとなった遺跡の内容について紹介してきましたが、ここでは本格的な発掘調査に至るまでの、事前の調査のうち分布調査について紹介します。

分布調査とは現地を踏査し、地表面に散布する遺物や地形などから遺跡の所在を明らかにすることです。



調査地の遠景



鳥取豊岡宮津自動車道（浜坂道路）が浜坂市街地の東側を流れる久斗川の南側の丘陵部に計画されたことから、昨年3月に分布調査を実施しました。調査は地図の赤く線を引いた部分の丘陵や平地の部分縦走します。延長が約4kmにもわたることから、3日間かけて行いました。山に分け入り、斜面を駆け上がり、尾根を目指します。尾根はたくさんあるので、登り下りを繰り返します。この区域には旧浜坂町教育委員会の調査によって古墳や山城跡が存在することがすでに明らかとなっています。今回の調査では、多くがこれまでに知られているものを確認するのみでしたが、一部で新しく古墳や山城が見つかりました。

今年度は遺跡の有無の確定や範囲を確認するために小規模な発掘調査（確認調査）を行う予定になっています。

尾根上の古墳と思われる平坦面



山に分け入り、斜面を登り





平成21年度ふるさと発掘展

# アメノヒボコの考古学

7月11日(土) - 9月6日(日)

【会場】

但馬国府・国分寺館

豊岡市日高町祢布808 / TEL: 0796-42-6111

- 伝説の新羅の王子アメノヒボコの謎に迫ります
- 『記紀』や『播磨国風土記』をもとにその足跡をたどります。
- 今の高校生はアメノヒボコをどのようにイメージしたか?「播但の高校生が描くアメノヒボコ物語」も必見です。

開館時間: 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)  
休館日: 毎週水曜日

## 観覧料金

大人500円(400円) 高校生200円(150円)  
小中学生150円(100円) ( )は20名以上  
\*豊岡市内の小中学生は無料。市内の65歳以上の方は半額。  
\*兵庫県内の小中学生は、ココロカードの提示で無料。  
\*両館でそれぞれの半券を提示いただくと、割引となります。

## ●平成21年度発掘調査予定遺跡●



No	遺跡名	所在地
①	南町遺跡	伊丹市南町
②	堂垣内遺跡	神戸市北区有野町
③	新名神道路関連遺跡	神戸市北区有野町 他
④	明石城下町町屋跡	明石市西新町
⑤	豊地城跡	小野市豊地
⑥	高松古墳群	西脇市野村
⑦	津万遺跡群	西脇市津万 他
⑧	大門畑瀬遺跡	西脇市黒田庄町大門
⑨	大伏北山遺跡	西脇市黒田庄町大伏
⑩	横屋・宮ノ前遺跡	多可郡多可町八千代区
⑪	清水・山城遺跡	多可郡多可町加美区
⑫	沖代遺跡	揖保郡太子町沖代
⑬	有年原・クルミ遺跡	赤穂市有年原
⑭	神谷第2散布地	宍粟市山崎町神谷
⑮	池田古墳	朝来市和田山町平野
⑯	浜坂道路関連遺跡	美方郡新温泉町柄谷
⑰	馬木遺跡	洲本市物部

## 企画展 夏休み考古学ナゾとき教室 弥生時代七つのナゾをたどろう

7月18日(土) ~ 8月31日(月) 【期間中無休】

むかしの人たちのくらしはどんなだったかな?  
いまだにとけないナゾがいっぱいです。  
考古学者になって、ナゾときにチャレンジしよう!

### ■観覧時間

午前9時30分～午後6時  
(入場は午後5時30分まで)

### ■観覧料金

一般 100円(80円)  
高・大学生 70円(60円)  
小・中学生 50円(40円)



※( )内は20名以上の団体料金  
※県内の小・中学生はココロカード持参で無料  
※障害者とその介護者、県内在住の65歳以上の方は半額

### ■編集後記■

ひょうごの遺跡72号は平成20年度末に実施した飯田遺跡・明石城下町町屋跡の調査成果を中心に構成しました。飯田遺跡の調査に関連して県下の代表的な焼土住居跡を集めてみました。今年度もやっと各地で発掘調査がはじまりました。調査が進んでいきますと現地説明会を実施しますので、考古博物館以外の現地にもお越しください。



21教 ㊞ 2-019A4

触れる・体感する、考古学のワンダーランド

兵庫県立考古博物館

兵庫県加古郡播磨町大中500 TEL 079-437-5589  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kokonaku-bo/>